

# 令和七年度 学校教育目標



百日草 ～星野富弘～

二度と来ない 今日というこの日  
この一日を 百日のように生きたい

感動いっぱい 夢いっぱい いのちいっぱい

自分が命がけ(一生懸命)になって生きていることに間違いはありません。自分らしく生きていき、そんな自分に納得し、そんな自分を好きになる。そんなみんなになってほしいと思っています。サブテーマに掲げた3つのキーワードには、こんな思いを込めています。

感動いっぱい・・・「感性」を養うこと。自らを「律する」こと。  
夢いっぱい・・・「感謝」すること。「人を思いやる」こと。「自分を見つめる」こと。  
いのちいっぱい・・・「今」と「ここ」にこだわること。「自分を好きになる」こと。

## 1. 「感動いっぱい」

「感動」ということは、感性を磨くことです。ひとりひとりの感性を磨くためには、「集団」の力を磨いていくことが重要です。なかまとの関わりの中で様々な考え方に触れ、自分の考え方を改めていったり、深めていったりできます。なかまとともに喜び合ったり、苦しいときには一緒に泣いたり、励まし合ったり、時には意見のぶつかり合いをしながら、多くの感性を磨いていってください。

「律する」ことは、社会性を磨くことにつながります。秩序やルールを守ること、規範意識を高めることは、みんなにとっては「自由の束縛」というイメージを持ちがちですが、本当は真逆です。秩序やルールがあるからこそ生活は成り立ちます。自分を律し、苦しいことに自ら飛び込んでいってください。その先にあるものは、達成感から生まれる「感動」です。

## 2. 「夢いっぱい」

みんなの夢がどんどん広がっていけるように応援していきます。

夢を持つということは、過去や未来を語ることを意味します。自分の生き方を語ることを意味します。過去や未来を語るためには、「今の自分を見つめる」ことは欠かせません。今の自分があることを当たり前だと思わないでください。今の自分があるのは、自分を取り巻く多くの人の存在があるからです。そこに気付ける人から溢れ出る言葉は、「ありがとう」の感謝の言葉しかありません。「感謝」の心と、人を思いやる「敬愛」の心と、「自分を見つめる」心育ててください。

## 3. 「いのちいっぱい」

全ては「百日草」に込められています。1日という時間の重さを感じながら、日々を精一杯生きていってください。だからこそ、「今(時間)」と、「ここ(場所)」を大切にしてほしいと思っています。全力で日々を生きていけば、みんなは自分のことがもっともっと大好きになるはずですよ。1年後の自分の姿、学級の姿を思い描きながら、力強く生きていってください。